



## 2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月11日

上場会社名 Chordia Therapeutics株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 190A URL <https://www.chorditherapeutics.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 三宅 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 佐藤 義彦 TEL 03 (6661) 9543  
 半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	-	-	△996	-	△975	-	△976	-
2024年8月期中間期	-	-	△809	-	△801	-	△802	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	△14.31	-
2024年8月期中間期	△14.22	-

(注) 2025年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。また、2024年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	3,451	3,246	94.0
2024年8月期	4,632	4,161	89.8

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 3,244百万円 2024年8月期 4,158百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年8月期	-	0.00	-	-	-
2025年8月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	△2,434	-	△2,378	-	△2,380	-	△35.17

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年8月期中間期	68,988,800株	2024年8月期	67,678,800株
2025年8月期中間期	一株	2024年8月期	一株
2025年8月期中間期	68,220,778株	2024年8月期中間期	56,443,800株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値等と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、これまでにない新しい抗がん薬を、一日でも早く患者のもとに届けることで、『Tomorrow is Another day～明日に希望を感じる社会～』を実現することを目指しています。具体的には、アンメットメディカルニーズの高いがん領域に特化した創薬研究を進めており、これまでにない新しい作用機序を有する低分子の画期的医薬品(ファーストインクラス)の研究開発を行っています。ファーストインクラスの医薬品は、既存治療薬と異なる有用性を示すことが期待され、これまでの治療法を大きく変えることができる医薬品に成長する可能性があります。特に既存治療薬では十分な効果が認められず、現在のがんの進行に不安を感じている多くの患者に対して、がんの進行をコントロールできるという希望を届けることを目標に事業の推進を行って参りました。

当中間会計期間におけるわが国経済は、物価や金利の上昇を伴った穏やかな景気回復基調を維持しつつも、主要先進国での政権交代に代表される政治的不安定性やウクライナや中東での紛争の継続、さらには米国の通商政策の不確実性等から、引続き先行きの不透明な状況が続いております。当社が属する医薬品・バイオ業界は、本邦においては創薬力の向上を目指した創薬エコシステムの構築に政府の支援が入るなどの追い風もありますが、薬価改定制度の不透明性に対する提言が大手グローバル製薬企業から出されている状況です。

このような環境の中で、当中間会計期間においては、CLK阻害薬CTX-712、国際一般名称はrogocekib(以下、rogocekibという。)を中心とした5つのパイプラインの研究開発は順調に進捗しております。

rogocekibについては、現在実施している米国における血液がんでの第1/2相臨床試験の第1相パートは順調に推移しており、2024年11月末時点での25症例から当第2四半期において4症例が追加され、2025年2月末時点では合計29症例が登録されています。現在は更なる試験の進捗に向けた活動を行っているところです。なお、rogocekibは、2025年1月に米国食品医薬品局(FDA)からオーファンドラッグ指定(Orphan Drug Designation: ODD)を受けました。この指定を受けることで、承認時申請手数料の免除や承認後最長7年間のデータ保護、税制優遇等の様々な支援を受けることができます。このことは、商用化へ向けた活動が一つ前進をしたものと当社では認識しています。

MALT1阻害薬CTX-177(以下、CTX-177という。)については、2020年12月に小野薬品工業株式会社と締結したライセンス契約に基づき、同社において臨床試験を着実に進めて頂いており、現在は、米国及び日本において再発又は難治性の非ホジキンリンパ腫もしくは慢性リンパ性白血病の患者を対象に第1相臨床試験を実施頂いているところです。

現在非臨床段階にあるCDK12阻害薬CTX-439(以下、CTX-439という。)については、臨床試験開始に向けての安全性試験や治験原薬の製造を終え、自社研究とAMED等からの助成金を活用して次のフェーズの準備を進めているところです。また、CTX-439及びGCN2阻害薬(以下、GCN2という。)については、自社での研究開発の推進に加えて、研究リソースをrogocekibに注力している現状に鑑み、早期のパートナーリングも含めた幅広い可能性の検討も前向きに行っております。

当社が保有する特許については、rogocekibの物質特許では、現在51カ国で登録済み、CTX-177の物質特許では、4カ国で追加登録されて、現在15カ国で登録済み、CTX-439の物質特許では、45カ国で追加登録されて、現在49カ国で登録済み、GCN2の物質特許では、20カ国で追加登録されて、現在25カ国で登録済みとなっています。

以上の結果、当中間会計期間の事業収益は該当ありませんでした(前年同中間期も該当なし)。事業費用につきましては、研究開発費が799百万円(前年同中間期比19.2%増)、その他の販売費及び一般管理費が196百万円(前年同中間期比41.9%増)となりました。

この結果、営業損失は996百万円(前年同中間期は809百万円の損失)、経常損失は975百万円(前年同中間期は801百万円の損失)、中間純損失は976百万円(前年同中間期は802百万円の損失)となりました。

なお、当社は医薬品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績を記載しておりません。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間会計期間末における資産合計は3,451百万円となり、前事業年度末と比較して1,180百万円減少しました。このうち、流動資産の残高は3,426百万円となり、前事業年度末と比較して1,178百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が1,053百万円減少したことによるものであります。また、固定資産の残高は24百万円となり、前事業年度末と比較して2百万円減少しました。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は204百万円となり、前事業年度末と比較して266百万円減少しました。このうち、流動負債の残高は204百万円となり、前事業年度末と比較して266百万円減少しました。これは主として、未払金が265百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は該当ありません。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は3,246百万円となり、前事業年度末と比較して914百万円減少しました。これは主として、中間純損失の計上により利益剰余金が976百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,276百万円となり、前事業年度末から1,053百万円減少しました。当中間会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動に使用した資金は1,114百万円(前年同中間期使用した資金は1,052百万円)となりました。これは主に、税引前中間純損失975百万円の計上、未払金の減少265百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動に使用した資金は0百万円(前年同中間期使用した資金は0百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動により獲得した資金は61百万円(前年同中間期は該当なし)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入61百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年10月11日付2024年8月期決算短信で発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当中間会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,329,624	3,276,066
前渡金	59,657	63,604
前払費用	38,155	33,531
その他	177,981	53,394
流動資産合計	4,605,418	3,426,597
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	11,213	11,880
減価償却累計額	△8,468	△9,237
工具、器具及び備品(純額)	2,744	2,642
有形固定資産合計	2,744	2,642
無形固定資産		
ソフトウェア	620	166
無形固定資産合計	620	166
投資その他の資産		
長期前払費用	11,269	9,791
その他	12,316	12,316
投資その他の資産合計	23,586	22,108
固定資産合計	26,952	24,917
資産合計	4,632,370	3,451,515
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	382,428	117,141
未払費用	2,295	—
未払法人税等	54,290	27,145
その他	32,058	60,691
流動負債合計	471,072	204,978
負債合計	471,072	204,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	845,270	876,270
資本剰余金	9,034,871	9,065,871
利益剰余金	△5,721,780	△6,698,121
株主資本合計	4,158,362	3,244,020
新株予約権	2,935	2,515
純資産合計	4,161,297	3,246,536
負債純資産合計	4,632,370	3,451,515

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
事業収益	—	—
事業費用		
研究開発費	671,110	799,754
販売費及び一般管理費	138,546	196,603
事業費用合計	809,656	996,358
営業損失(△)	△809,656	△996,358
営業外収益		
助成金収入	11,363	23,090
その他	81	816
営業外収益合計	11,444	23,907
営業外費用		
為替差損	3,189	2,680
営業外費用合計	3,189	2,680
経常損失(△)	△801,401	△975,131
税引前中間純損失(△)	△801,401	△975,131
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210
法人税等合計	1,210	1,210
中間純損失(△)	△802,611	△976,341

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△801,401	△975,131
減価償却費	2,111	1,223
助成金収入	△11,363	△23,090
前払費用の増減額(△は増加)	3,696	4,623
前渡金の増減額(△は増加)	20,253	△3,946
長期前払費用の増減額(△は増加)	△829	1,478
未払金の増減額(△は減少)	△115,391	△265,286
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,720	—
その他	△148,601	97,098
小計	△1,067,245	△1,163,032
助成金の受取額	17,181	50,981
法人税等の支払額	△2,420	△2,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,052,483	△1,114,470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△178	△667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178	△667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	61,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	61,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,052,661	△1,053,557
現金及び現金同等物の期首残高	4,799,035	4,329,624
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,746,373	3,276,066

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

I 前中間会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

当社の事業セグメントは、医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

当社の事業セグメントは、医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。